

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 21 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	玉川河川敷整備事業費			
担当課係名	都市整備課	住宅公園係	作成者	柏谷友美
総合計画での位置づけ	施策の大綱	安心・安全で潤いのある生活環境のまち		総合計画のページ 81
	基本計画	公園や緑地の整備		
	主要施策	公園の建設、河川公園の管理と利用促進		
予算費目	一般会計	8款 土木費	3項 河川費	3目 河川改良費
事業期間	平成 21 年度 ~ 平成 22 年度		新規/継続の区分	新規
性質区分	<input type="checkbox"/> 市民サービス <input checked="" type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理			
根拠法令等	仙北市河川公園条例			
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 直営(一部民間委託) <input type="checkbox"/> 民間委託(全部) <input type="checkbox"/> 補助			

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市民並びに来訪者
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	市民の憩いの場、スポーツ、レクリエーションの場として、快適で楽しく利用できるように努める。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	玉川河川敷を多目的広場として整備し、サッカー、ゲートボール等、市民がスポーツ等で楽しめる施設を造る。

【事務事業の推移】

		項 目	単 位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	
効果	活動指標	整備面積 (㎡)	目標	㎡		49,068.96	
			実績	㎡		49,068.96	
			達成度	%		100.0%	
	成果指標	実施事業量/全体事業量 (進捗率)	目標	%		80.00	
			実績	%		80.00	
			達成度	%		100.0%	
投下コスト	項 目		総事業費	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	21年度決算額(千円)	
	事業費(人件費を除く)(A)					76,602	
	人 件 費 (B)					14,341	
	職 員 数					1.78	
	職 員 平 均 人 件 費					8,057	
	(A) + (B) 投下コスト					90,943	
	財源内訳	国 庫 支 出 金					72,100
		県 支 出 金					0
		地 方 債					0
		そ の 他					0
	一 般 財 源					18,843	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)					1,853	
	市民1人当たりのコスト(円)					2,972	

【事務事業の今までの成果】

国体馬術競技場跡地を利用して、多目的広場を整備。平成22年度に玉川河川公園として開設。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	緑化については、地球温暖化の視点から推進が求められている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	仙北市サッカー協会よりサッカー場としての利用を求められている。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
C 1	A 現状のまま継続（実施）	平成22年度事業のトイレ建設工事以外は完成しているため。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

玉川河川公園のトイレ建設後は、市民および来訪者の憩いの場として快適に利活用できるよう努める。

【二次評価】

判定	判定に至った理由
E	事務事業評価時点で目的達成（事業完了）済。

